

視察（研修）報告書

令和7年7月28日

府中市議会議長 様

会派名又は 経政会
議員名 森川 稔／藤本秀範

日 時	令和7年7月28日(月)
視察（研修）先	尾道市役所 委員会室 1.2
視察（研修）項目	スポーツによる地域振興に関する研修
参加者	森川 稔 / 藤本秀範
視察（研修）内容	<p>◎令和7年度第2回研修会</p> <ol style="list-style-type: none">1. 内容:スポーツによる地域振興について2. 尾道市役所4F 委員会室 1、23. 尾道市議会議長 挨拶 福原謙二4. 講師:スポーツ庁 地域振興担当 廣田美香参事官5. 講義内容<ul style="list-style-type: none">(ア)スポーツ基本法・スポーツ基本計画(イ)スポーツ健康・まちづくりの推進(ウ)スポーツツーリズム(エ)地域スポーツコミッション(オ)スポーツコンプレックスの推進(カ)スポーツに親しむ場づくり(キ)スポーツ・健康まちづくりの事例紹介(スポまち!表彰制度)(ク)スポーツによる地域振興の価値
所 感	<p>・講義としては、地方創生 2.0 の基本構想(令和7年6月13日閣議決定)に基づく地方創生におけるまちづくりについて、スポーツを通じた地域振興をはかる政策パッケージによる取り組みの内容が主であった。参加した受講者が抱えている諸課題について質問をする機会が与えられ以下の点について尋ねた。「我が府中市においては、国の社会資本整備事業に則った国庫を活用したスポーツ施設…スピングルウエルネスセンターがこの令和7年 7/1 にオープンした。構成員として、スポーツクラブルネサンスが入っており、現在オープンしたばかりのスポーツ施設は市の財政面の自立を目指していく施設としても位置付けたい。市のスポーツ資源や観光資源を活用して、いかに財源確保といった収益につなげていけるのか事業戦略は必要であり課題であると思っている。市の強</p>

みである競技のひとつに水泳があり、今回も県のインターハイに 2 名の選手が出場される。このような環境下から、府中市でスポーツ需要をさらに向上させるためとしてスポーツコミッションの設立に興味を抱いた。一方で、市役所内部の事務局を設けるなど人材面も苦慮したことや地域おこし協力隊および市職員を含めノウハウは有していく課題もあるなかで、「スポーツコミッションの設立に必要なノウハウ等に及ぶスポーツ庁による支援制度」についてはどういったものがあるのか」お伺いした。基本戦略としてまちづくりと地域の活性化につなげる取り組みを推進するネットワーク組織とした同団体は令和6年10月時点で207団体となっている。民間団体を中心にスポーツ施設を核とした交流がメインであり、支援事業の現状として「令和7年度は約1.4億円をまちづくりとした担い手育成総合支援として予算化をしている。主に地域で開催されるスポーツイベントや合宿誘致を活性化につなげ、その担い手となる地域SC（スポーツコミッション）の質的向上に向けた支援制度が紹介され、自立・自走と地域SCの増加を目指す支援に取り組んでいる回答を得た。そのような、スポーツ庁による支援を本自治体としてはどのように整合性を図りながら政策に取り組むのか、会派としても継続した視点で協議を図りながら取り組みたい考えを持つことが出来たことは研修に参加した大きな意義であったと感じている。